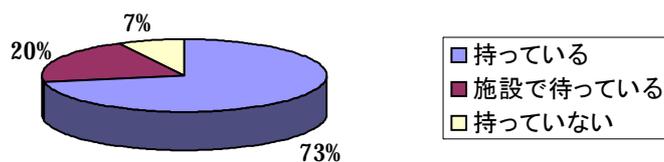


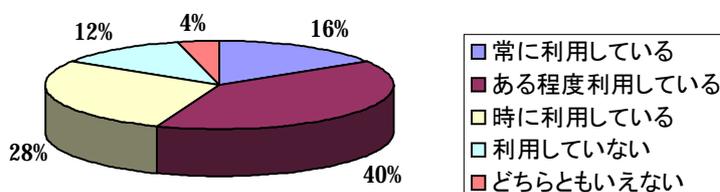
日本食道学会 食道癌治療ガイドラインに対するアンケート結果 (平成17年7月)

回答者	評議員	158 名
	一般	25 名

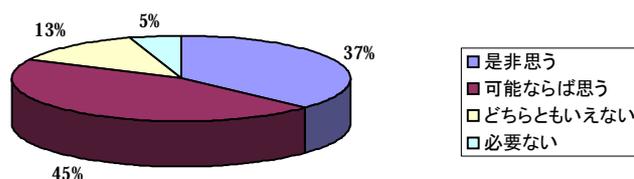
Q1. 食道癌治療ガイドラインを持っておられますか？



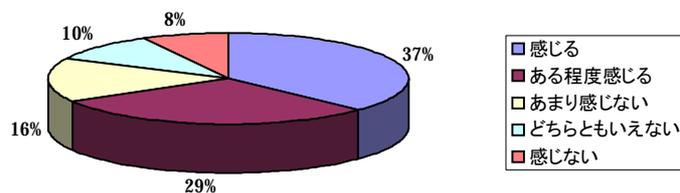
Q2. 食道癌治療ガイドラインの利用状況について、その状況はいかがですか？



Q3. 食道癌治療ガイドラインについて、現在診断の分野の追加を検討している所ですが、診断の項を追加した方がよいと思われますか？



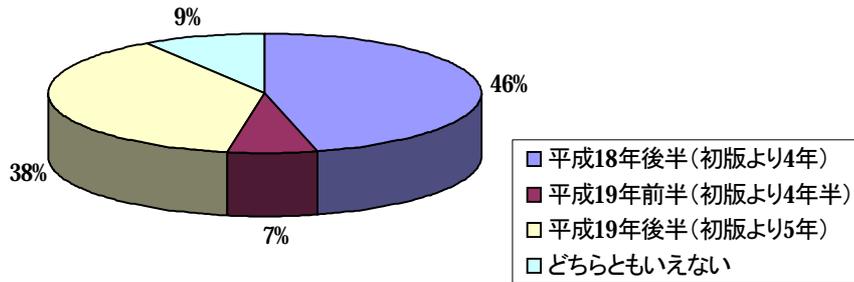
Q4. 胃癌ガイドラインのように、一般向けの食道癌治療ガイドラインが必要であると感じますか？



Q5. 原稿の食道癌治療ガイドラインのこのまま残すべき点、問題点をご指摘ください。

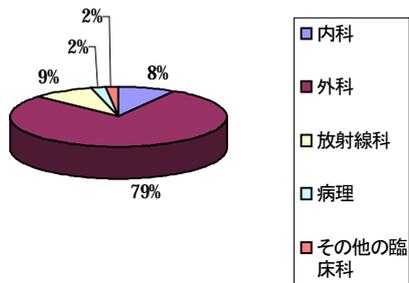
別紙

Q6. 食道癌治療ガイドラインの改訂の時期について、どのくらいの時期が妥当であると感じますか？

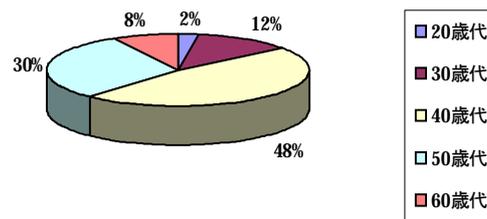


Q7. あなたのご専門、年代、施設、病床数を教えてください。

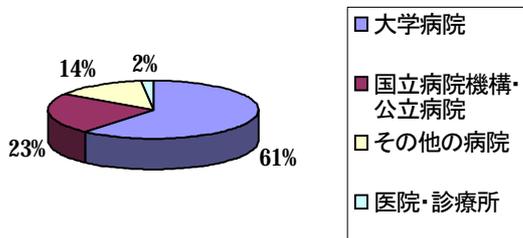
<ご専門>



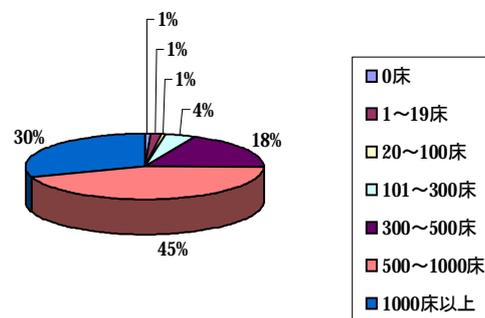
<年代>



<施設>



<病床数>



Q5.現行のガイドラインのこのまま残すべき点

- ①. 全体の構成
- ②. 本ガイドラインについて
- ③. EMR・標本の扱いと評価
- ④. 外科治療
- ⑤. 進行度・病期別の治療方針
- ⑥. 参考文献
- ⑦. 附1-6
- ⑧. controversialという表記
- ⑨. 治療法の規制が厳密でないこと
- ⑩. CRT等のエビデンス

Q5.現行のガイドラインの問題点

- ① ガイドライン全般
 標準治療（治療方針）が曖昧である
 エビデンスが低い
 controversialの記載が多い
 優先順位がない
 治療成績の記載がない
 外科治療が曖昧
- ② 追加あるいは改訂してほしい項目
 ESDの追加
 Salvage手術の適応と時期
 再発治療（NST、緩和医療）の充実
 鏡視下手術の位置づけ
 術後サーベイランスの標準化
 新抗がん剤の追加
 PDTの適応
- ③ 化学放射線治療と化学療法について
 治療成績がない
 Regimenがない
 MeritおよびDemeritの記載を希望
 Volumeが少ない
- ④ 進行度別の治療方針の表について
 治療成績が同等に見える
 深達度ではなく進行度別の記載が明瞭である
- ⑤ その他
 一般向けガイドラインがない
 イラストが少ない